



西東小だより

R 3.1. 8
第15号
文責 田中

令和3年（2021年）と後期後半の始まりです！



新しい年、令和3年（2021年）がスタートしました。学校に子どもたちの元気で明るい声が帰ってきました。そんな子どもたちの声を聞いていると心が暖かくなってきます。冬休み中、ご家庭での子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。

さて、昨年はコロナ禍の大きな影響を受けながらの教育活動でしたが、新年になってもコロナウイルスの勢いが一向に収まりません。そのような中においても、子どもたちは日に日に成長を続けています。学校は立ち止まっているわけにはいきません。どんなことならできるのか、より効果を上げるためにはどんな工夫が必要なのか、これまでと違った方法は無いのだろうかなど、発想の転換を図りながらよりよい学びを子どもたちと一緒に作りあげていきたいと考えています。

残り3ヶ月で令和2年度が終了します。後期後半始まりの式で、主に次のような事を話しました。

①1月から3月の期間はあっという間に過ぎていくこと。

②コロナウイルスに感染した人の人数が2000人を超したこと。

39日の間に感染者数が1000人増加するなど、感染のスピードがとても速いこと。

塾等に行くなど、用事で外出するときは感染予防策を十分に行うこと。

また、できる限り外出の機会を減らしていくこと。

③後期後半は次の学年の0学期といわれる。目標を立て、その実現に向けたよりよい暮らしができるよう、全員で頑張っていくこと。

話したことを子どもたちが確実に実行していけるよう、学校でしっかり指導していきますので、今年も保護者・地域の皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。



新しい先生を紹介します

学校だより第9号では、新型コロナウイルス感染拡大に伴いスクール・サポート・スタッフとして勤務いただいている悦 真奈美先生を紹介しました。今回は、悦 先生と同様にスクールサポートスタッフとして勤務いただくことになりました木庭 えりか先生を紹介します。

木庭先生には、本校2年生で教育実習も頑張ってくださいました。とても明るく元気があり、フットワークの軽い先生です。自己紹介していただきました。



今月よりスクールサポートスタッフとして悦先生と一緒に先生方のお手伝いをさせてもらっています。木庭と申します。

現在、小学校の教員免許取得のため、通信教育で勉強中です。コロナウイルスで大変な状況ですが、しっかり感染予防に努めながら子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。